◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は２月２０日（水）発行の予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第１９０号
平成31年（2019）1月発行
発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL　3786－2000
FAX　3786－5385

家族で餅つき体験
荏４町会が恒例行事

ペッタン、ペッタン、
大人も子どもも大わらわ
（写真提供：鳳和会 会長 高橋幸雄さん）

12月になると、荏原４丁目町会では餅つき大会を約30年前から開催しています（昨年は12月16日）。会場は荏原ほっとサロンから栄通りを横切った先にある駐車場。臼と杵は町会で３組も保有しており、本物の餅つきを子どもたちにも見せてやりたいということから始まりました。今ではすっかり荏原４丁目の名物行事となっています。今年は若い人たちの参加も増え、子どもたちも手伝ったりして、ますます活気が出てきたようです。

餅をつく人、返す人。この力仕事は町会の鳳和会の若い人たちが中心となって行っています。つきあがったお餅は、女性スタッフが餡餅、黄な粉餅、からみ餅にしてパックに詰めて販売しています。今年は餅販売が好評で、購入者の行列が長く延びました。そのほかにも、女性スタッフが心を込めて作った熱々の豚汁を無料で提供しています。また、荏原４丁目町会では綿菓子の機械を持っており、子どもたちは綿菓子を作って大はしゃぎ。このような楽しい行事の積み重ねで、地域の皆さんの町会への理解や協力が深まっていくのでしょう。

30年間も続くこの餅つき大会には、多くの協力者がいます。中心になって餅つきを行った鳳和会の会員、もち米を調達してくれる大越米店、豚汁を作ってくれた女性スタッフの皆さん、交通整理などお手伝いいただいたしろがねクラブの皆さんなどです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

（荏原４丁目町会・齋藤好江）

区内一斉防災訓練を実施
管内５カ所で５７０人余り参加

12月９日（日）に、品川区内全46カ所において、区内一斉防災訓練が実施されました。荏原第一管内では、後地小、小山台小、荏原一中、荏原六中、スクエア荏原の５カ所で実施され、総勢５７９人が参加しました。訓練参加者は、避難者数を把握する上で重要となる避難者名簿の作成や、物資配給訓練などを行い、防災意識や、災害時の行動力を高めました。

（事務局）

花めぐり

キルタンサス

甘い香りを放つ筒状の朱紅色のキルタンサスは、花の少ない冬場の12月から4月にかけて、次から次へと花を咲かせます。原産地は南アフリカで、ヒガン花科。日本には明治末から大正にかけて渡来しました。

戦後から長い間、神奈川県の湘南地方で、暖房がなくても作れる冬の切り花として生産され、温室で作られたカーネーションの切り花より高値がつくほど人気があったとか。古くから作られている割にはあまり見かけない花で、近年のガーデニングブームでようやく球根が売られるようになりました。

このキルタンサスは近所から譲り受けて10年ほど経ちますが、毎年冬場になると春先まで咲いており、通りすがりの人たちを楽しませてくれています。花言葉は「はずかしがり屋さん」です。

（小山2丁目東部町会・山内静子）

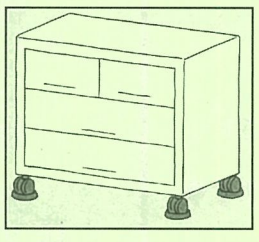
防災☆ワンポイント
（東京都発行「東京防災」より）

●防止対策のポイント

転倒・落下・移動防止対策はネジ止めが基本

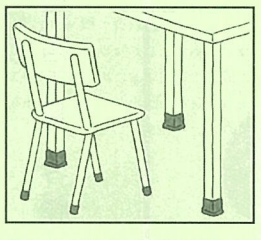
家具類のレイアウトを工夫したら、器具による家具類の転倒・落下・移動防止対策を行います。最も確実な方法は、壁にＬ型金具でネジ止めすることです。ネジ止めが難しい場合は、突っ張り棒とストッパー式、突っ張り棒と粘着マットを組み合わせると効果が高くなります。

東京防災の冊子



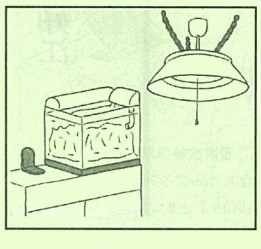
キャスター付き家具はロック

日常的に動かして使う場合、移動時以外はキャスターをロックし、定位置がある場合は壁や床に着脱式ベルトなどでつなげます。普段動かさない物は下皿や、ポール式器具などを設定し、固定します。



テーブル・イスの滑り止め

壁面に接して置いていない背の低い家具類の中でも、特にテーブルやイスは移動防止対策が必須。粘着マット、カーペットの場合は滑り防止マットを設置します。



長周期地震動への対策

長周期地震動は、大きくゆっくりとした揺れが続くのが特徴です。そこで注意が必要なのが、つり下げ式照明、鑑賞用水槽やウォーターサーバーなど水をためる物。適切な器具で対策を施しましょう。

◎シリーズ◎
駅前再開発

⑰ついに出現！

昨年1月発行号の「まちかど」でも読者の皆様にお知らせした、武蔵小山駅前の高層タワーマンションが計画どおり41階まで構築され、現在は屋上周辺を工事中です。1週間で1階ずつ積み上げていくという説明通り、10ヶ月強で巨大な容姿が現われました。未だ上部の階の外装は工事途中ですが、全体の姿は圧巻です。見上げると首が痛くなる程です。

私たち「こやま」の街にもシンボル的な高層マンションが出現して、「コスギ」と「小山」の双璧として住み良い街に発展して欲しいものです。

（小山２丁目西部町会・髙橋元嘉）

◆各地区の進捗状況について
（参考資料・武蔵小山駅前周辺地区開発連絡会ニュース）

①武蔵小山駅前通り地区

現在、掘削工事、切梁架設工事、構台架設工事を施工中です。平成33年6月の竣工に向けて、今後も施設建築物新築工事を進めていきます。

②武蔵小山パルム駅前地区

施設建築物の新築工事は平成31年度の竣工を目指し順調に進められています。昨年12月に最上階の41階まで上棟し、今後も引き続き内装工事等を進めていきます。

③小山三丁目第１地区

事業方針の取りまとめに向けて、事業基本案をベースに個別面談等による権利者意向の把握を行っています。

④小山三丁目第二地区

新たに準備組合事務所を開設しました。引き続き、再開発に関する勉強会の開催、地区内の地権者の皆様との話し合いを進めていきます。

訃報

荏原第一連合町会会長、荏原４丁目町会会長の三瓶恭生様（享年77歳）が、平成30年12月26日にご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

なお、通夜は1月5日に、告別式は1月6日に桐ケ谷斎場にて執り行われました。